



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月11日

上場会社名 大阪港振興株式会社 上場取引所 JQ  
 コード番号 8810 URL <http://www.osakakoshinko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 正一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 四宮 誠之 TEL (06) 6571-0861  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	600	△8.8	159	11.9	160	10.2	76	△11.0
22年3月期第1四半期	658	△3.8	142	8.9	145	9.6	86	26.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
23年3月期第1四半期	円 銭 39 42	円 銭 —
22年3月期第1四半期	円 銭 44 16	円 銭 —

※上場株式は優先株式であるため、優先株式についてのみ記載しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
23年3月期第1四半期	百万円 11,150	百万円 5,132	% 46.0	円 銭 2,569 26
22年3月期	11,407	5,075	44.5	2,540 89

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 5,132百万円 22年3月期 5,075百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
22年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 13 00	円 銭 13 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	13 00	13 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

※上場株式は優先株式であるため、優先株式についてのみ記載しております。

## 3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	△8.0	310	1.2	310	△0.8	180	22.0	90	13
通期	2,430	△4.2	610	2.0	610	△0.1	340	118.5	171	17

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

※上場株式は優先株式であるため、優先株式についてのみ記載しております。

#### 4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成の基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (3) 発行済株式数

(優先株式)

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	1,540,000株	22年3月期	1,540,000株
23年3月期1Q	2,288株	22年3月期	2,278株
23年3月期1Q	1,537,719株	22年3月期1Q	1,537,722株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

(普通株式)

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	460,000株	22年3月期	460,000株
23年3月期1Q	—株	22年3月期	—株
23年3月期1Q	460,000株	22年3月期1Q	460,000株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

- (1) 経営成績

(注) 1株当たり四半期純利益39円42銭は上場している優先株式（154万株）に対するものであり、株式会社辰巳商會所有の普通株式（非上場46万株）の1株当たり四半期純利益は35円37銭。

2. 配当の状況

(注) 優先株式は上場株式であり、普通株式は株式会社辰巳商會所有の非上場株式であります。

3. 23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(注) 1株当たり予想当期純利益（通期）171円17銭は上場している優先株式（154万株）に対するものであり、株式会社辰巳商會所有の普通株式（非上場46万株）の1株当たり予想当期純利益（通期）は166円92銭。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、企業収益に一部回復の兆しが見られるものの、厳しい雇用情勢や円高・株安の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況におきまして、当第1四半期会計期間の経営成績は、平成21年11月30日で冷蔵倉庫を閉鎖したことなどにより、売上高は6億円(前年同四半期比8.8%減)となりました。

利益面では、諸経費の削減に努めたことにより、営業利益は1億5千9百万円(前年同四半期比11.9%増)、経常利益は1億6千万円(前年同四半期比10.2%増)となりましたが、特別損失で資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上したことにより、四半期純利益は7千6百万円(前年同四半期比11.0%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ2億5千7百万円減少し、111億5千万円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものです。

負債は、前事業年度末と比べ3億1千3百万円減少し、60億1千7百万円となりました。これは主に短期借入金および受入敷金保証金の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末と比べ5千6百万円増加し、51億3千2百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べ1億2千3百万円増加し、5億2千3百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億4千2百万円の支出(前年同四半期は1億1千4百万円の支出)となりました。これは主に税引前四半期純利益が1億3千2百万円と前年同四半期と比べて9.4%の減益となったことと敷金・保証金の返還による支出があったためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億6千7百万円の収入(前年同四半期は7千4百万円の支出)となりました。これは有形固定資産の取得による支出があったものの、定期預金の払戻による収入があったためであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億2百万円の支出(前年同四半期は3千4百万円の支出)となりました。これは長期借入れによる収入があったものの、短期借入金および長期借入金を返済したためであります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期の業績予想につきましては、平成22年5月20日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 会計処理基準の変更

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより税引前四半期純利益が27,523千円減少しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	523,034	869,954
受取手形及び売掛金	36,147	37,718
有価証券	160,438	130,183
その他	144,974	58,403
貸倒引当金	△1,000	△1,100
流動資産合計	863,593	1,095,158
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,073,853	4,132,637
土地	4,550,163	4,521,867
その他(純額)	248,518	217,308
有形固定資産合計	8,872,534	8,871,813
無形固定資産	14,973	11,864
投資その他の資産		
投資有価証券	1,254,313	1,277,868
その他	144,933	151,000
貸倒引当金	△300	△300
投資その他の資産合計	1,398,946	1,428,568
固定資産合計	10,286,454	10,312,246
資産合計	11,150,048	11,407,405
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	43,660	46,701
短期借入金	1,119,680	1,633,280
未払法人税等	55,654	57,762
賞与引当金	6,000	20,200
その他	411,675	465,990
流動負債合計	1,636,670	2,223,934
固定負債		
長期借入金	1,425,000	994,720
退職給付引当金	238,357	234,230
役員退職慰労引当金	34,250	30,750
修繕引当金	345,956	339,384
受入敷金保証金	2,265,146	2,462,680
その他	72,033	45,706
固定負債合計	4,380,744	4,107,471
負債合計	6,017,414	6,331,405

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	58,178	58,178
利益剰余金	4,938,588	4,885,831
自己株式	△3,421	△3,405
株主資本合計	5,093,344	5,040,604
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39,288	35,395
評価・換算差額等合計	39,288	35,395
純資産合計	5,132,633	5,075,999
負債純資産合計	11,150,048	11,407,405

(2) 四半期損益計算書  
【第1四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	658,241	600,147
売上原価	427,697	350,531
売上総利益	230,544	249,615
販売費及び一般管理費		
役員報酬	25,100	23,750
給料及び手当	16,083	23,917
退職給付費用	2,571	3,723
役員退職慰労引当金繰入額	19,850	14,750
賞与引当金繰入額	1,632	2,064
貸倒引当金繰入額	700	—
その他	21,694	21,432
販売費及び一般管理費合計	87,631	89,638
営業利益	142,913	159,976
営業外収益		
受取利息	576	455
受取配当金	3,620	4,219
有価証券利息	1,886	3,982
その他	842	829
営業外収益合計	6,926	9,486
営業外費用		
支払利息	2,548	7,766
支払手数料	1,825	1,407
その他	2	—
営業外費用合計	4,376	9,174
経常利益	145,463	160,289
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	100
修繕引当金戻入額	2,900	—
特別利益合計	2,900	100
特別損失		
固定資産除却損	1,901	179
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	27,523
特別損失合計	1,901	27,702
税引前四半期純利益	146,461	132,687
法人税等	60,100	55,800
四半期純利益	86,361	76,887

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	146,461	132,687
減価償却費	75,210	72,189
貸倒引当金の増減額(△は減少)	700	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,000	△14,200
修繕引当金の増減額(△は減少)	3,704	6,572
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27,216	4,127
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△19,750	3,500
受取利息及び受取配当金	△6,083	△8,657
支払利息	2,548	7,766
固定資産除却損	—	19
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	27,523
売上債権の増減額(△は増加)	8,016	672
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,288	△3,041
預り敷金及び保証金の返還による支出	△200,902	△250,795
預り敷金及び保証金の受入による収入	12,628	53,261
未収消費税等の増減額(△は増加)	5,933	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,501	2,817
その他	△76,420	△122,929
小計	△83,956	△88,585
利息及び配当金の受取額	7,493	7,051
利息の支払額	△1,607	△3,415
法人税等の支払額	△36,876	△57,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114,947	△142,856
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	150,000	470,000
有形固定資産の取得による支出	△226,867	△98,889
無形固定資産の取得による支出	—	△5,223
貸付けによる支出	△300	△150
貸付金の回収による収入	2,406	2,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,761	367,937
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△550,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△16,000	△33,320
自己株式の取得による支出	—	△16
配当金の支払額	△18,314	△18,664
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,314	△102,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△224,022	123,080
現金及び現金同等物の期首残高	685,911	399,954
現金及び現金同等物の四半期末残高	461,888	523,034

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。